

ながぬま



第 24 回 ながぬまマオイ夢祭り

～ ストロングカップ ～

マオイ夢祭りでながめま産農産物をPR

第24回 ながめまマオイ夢祭り開催！



ながめま農産物をPRする柴田組合長

第24回ながめまマオイ夢祭りが8月20日、長沼町総合公園で開催され町内外から多くの家族連れなどで賑いました。
開会式では柴田組合長から、「農作物は順調に生育しています。9月には稲刈りが始まりますので、長沼産の新米や新鮮な農産物などを是非味わってほしい」とPRを行いました。
JA青年部は、オリジナルの

誉とうふや北海道豆腐油揚商工組合青年部とさまざまな大豆加工品を販売し、JA女性部は、長沼産夏野菜の無料配布、ゆでとうもろこしの販売、子供向けミニトマトすくい、販売部は牛乳消費拡大の一環として牛乳の無料配布、Aコープながめま店は、長沼産米のおにぎりやとりごぼう汁などの販売を行い、たくさんの来客者に大変好評でした。

また、祭りイベントでは、100馬力のトラクターが30秒間で何m引けるかを競う「ストロングカップ」が行われ、会場を賑わせていました。その他、長沼百年太鼓や勇獅子舞、自衛隊車両やトラクターの展示会なども行われ大いに盛り上がりました。



青年部豆腐販売



女性部野菜配布



販売部牛乳配布



Aコープながめま店

長沼町園芸組合連合会 長沼町へ野菜寄贈

長沼町園芸組合連合会は、8月7日、日頃の支援や活動助成へのお礼と収穫の報告を兼ねて、長沼町役場を訪問し野菜を贈呈しました。

新鮮な野菜に大変喜んでいただき、贈呈されたアスパラ、いちご、キュウリ、トマト、長ネギ、ブロッコリー、スイートコーンは町内の保育園で使用いただきました。



また、長沼町の農業情勢や農産物の状況などについても意見交換が行われました。



販売部 令和5年産 小麦受入開始

令和5年産小麦受入が7月21日より開始しました。

昨年より1日早いスタートとなり秋小麦、春小麦合わせて約15,000tの受入を行いました。本年も1等Aランク調整に努めます。



経営所得安定対策最終確認・肥料価格高騰対策事業(国事業)申請手続き

8月16日から18日までの3日間、経営所得安定対策最終確認手続き・肥料価格高騰対策事業(国事業)の受付を大会議室で行いました。

今後においても、経営所得安定対策等、事業の円滑な運営のために各関係機関と十分に連携し、事業内容の周知及び申請支援を実施してまいります。



9月の 水稲栽培ポイント



1. 適期収穫

今年の水稲は平年より7日早く成熟期（平年 成苗ななつぼし9/13）をむかえると思われます。高品質米生産むけて、ほ場および品種別に玄米判定（下見検査）し収穫適期を判断しましょう。玄米判定を参考に、刈り遅れにならないよう計画的に収穫しましょう。

(1) 出穂期から日数や日平均積算温度による成熟期予測

平年では、出穂期から40～50日、籾数が3万～3.2万粒/㎡で積算温度950℃（そらゆき1100℃）で成熟期に達します。品種や籾数によって異なりますが、成熟期から約1週間後が収穫適期と予測できます。
参考：今年（令和5年）の出穂期（成苗ななつぼし7/25）を起点とした40日～45日後は9月3～8日になります。

(2) 籾の熟色による成熟期判定

成熟期が近づいたら、好天日に1株中の黄化籾の割合を目視で確認します。成熟期は全籾の90%が完熟籾となった時です（図1）。

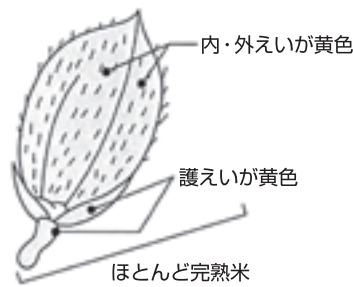


図1 完熟籾のイメージ

(3) 玄米による収穫適期判定

品種、ほ場単位で最も生育が進んだ水田内で、平均的に生育している箇所から3～5株採取します。生育のバラツキが多く、穂揃いが悪いほ場では多めにサンプル採取しましょう（図2）。
玄米の整粒歩合が70%または80%で収穫適期ですが、青未熟粒の割合が多い場合は、判断が難しくなります。登熟は1日当り2～3%進みますので、3～4日後に再度サンプル採取し判定を行ってください。
なお、9月1日よりJAの各検査場（中央、北長沼、舞鶴）で適期刈り取り指導にて適期判定および指導を受けましょう。

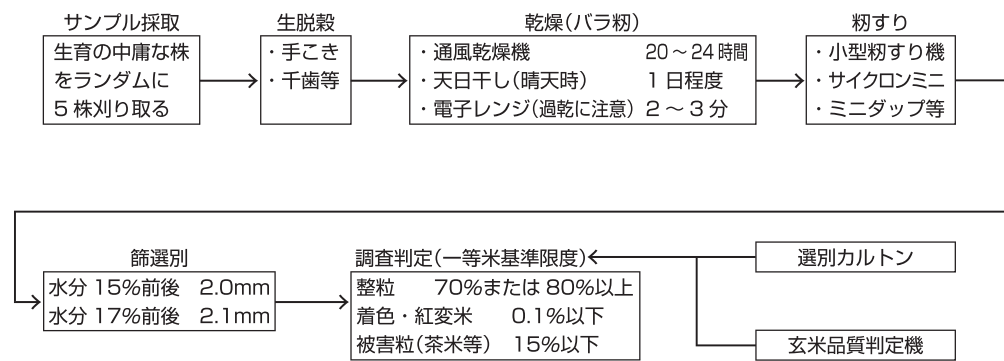


図2 玄米による収穫適期の判定方法

2. ほ場管理と来春に向けた土壌診断

- (1) 表面排水へ溝切り、透排水性改善へサブソイラ施工で縦浸透改善を。
- (2) 令和3年の土壌診断結果より、本田ではケイ酸が少ないほ場やリン酸過剰のほ場が多いです。また、育苗床もリン酸が過剰傾向なので、土壌診断を実施し現状把握しましょう。多項目の土壌分析診断については、JA助成（1戸10点まで無料）を活用しましょう（土壌提出先：JA資材センター）。



農福連携に向けたJAながめま説明会及び施設見学会開催
8月22日、現状及び将来の労働力不足における問題解消の一環として、社会福祉協議会の協力を仰ぎ農福連携に向けた説明会を開催いたしました。
近隣市町の事業所を対象に案内を行い、当日は14の福祉事業所及び支援団体と長沼町をはじめ岩見沢市、千歳市、恵庭市の行政を含め総勢33名の出席をいただきました。また、先進事例として土別市の福祉事業所ノースリーフ合同会社の橋本代表より土別市近郊の各JAでの取組み事例を紹介いただき、参加者から多数の質問がありました。その後は現地に当JA野菜集出荷施設の視察を行いました。今後、各事業所と協議し、集荷施設での就労や圃場での収穫作業への従事を目指します。



小麦消毒施設稼働
8月16日から19日の4日間、小麦消毒施設で令和6年産用小麦種子供給に向け消毒作業を行いました。
長沼産きたほなみ採種177t、原種3tの種子消毒を行い、8月中旬より配送を行いました。
今後、所得向上に向けた良品質小麦生産の為、優良種子の安定供給に取組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解、ご協力をお願いいたします。



麦・大豆生産流通協議会
秋小麦・大豆
現地研修会開催
8月21日、秋小麦・大豆現地研修会が生産者49名参加の下、本所2階大会議室、旧北長沼支所会議室、舞鶴事業所前にて開催されました。
普及センターの菅原専門主任と当農協の村井営農コンサルタントより、秋小麦のなまぐさ黒穂病対策・雑草対策や、大豆のカビ英・腐敗粒対策等について説明がありました。
生産者からも多くの意見・質問が出され有意義な研修会となりました。



5. 雑草対策

ほ場の優先雑草を考慮し、土壌処理剤および茎葉処理剤（10月中旬）を組合せましょう。

スズメノカタビラ等イネ科雑草が発生しやすいほ場は、土壌処理剤として「キタシーブフロアブル」または「ムギレンジャー乳剤」などのスズメノカタビラに効果が高い剤を使用しましょう。

さらに、トレファノサイド乳剤処理（10月中旬）の追加処理はより効果が高まります。

オニノゲシ、ナタネタビラコ等の広葉雑草が発生しやすいほ場は、小麦2～4葉にエコパートフロアブル処理を必ず実施、翌年春にエコパートフロアブルやハーモニー 75 D F 水和剤の体系処理を目指しましょう。

＝ 秋まき小麦の土壌処理（ドリル播き栽培） 農薬使用例 ＝

	除草剤名	シ ロ ザ	タ デ 類	ハ コ ベ	ナ ズ ナ	スカ シ タ ゴ ボ ウ	1 年 生 イ ネ 科	スズ メ ノ カ タ ビ ラ	使用方法及び使用時期等	10a 当り 使用量	使用 回数
土 壌 処 理	キタシーブ フロアブル	○	○	○	○	○	○	○	は種後～小麦3葉期 （雑草発生前～発生始期） スズメノカタビラの除草効果が高い	80～100 ml	1
	ムギレンジャー 乳剤	○	○	○	○	○	○	○	秋まき栽培のは種後出芽前（雑草発生前） 砂土では薬害の恐れがあるので使用しない 砂壤土での使用は黄化、生育抑制を生じる場合がある ので 300 ml /10a で使用 少量散布（25～50 l /10a）の場合は専用ノズルを 使用する	300～600 ml 水量 50～100 l 少量 25～50 l	1
	ガルシア フロアブル	○	○	○	○	○	○	○	は種後出芽前 （雑草発生前） 出芽直前～小麦3葉期 （雑草発生前～発生始期） 小麦4～6葉期 （越冬前 スズメノカタビラ4葉期まで）	150～250 ml 100～200 ml 200～250 ml	1

＝ 秋まき小麦 秋期と春期の茎葉散布処理 農薬使用例 ＝

	除草剤名	シ ロ ザ	タ デ 類	ハ コ ベ	ナ ズ ナ	スカ シ タ ゴ ボ ウ	1 年 生 イ ネ 科	スズ メ ノ カ タ ビ ラ	使用方法及び使用時期等	10a 当り 使用量	使用 回数
茎 葉 散 布	トレファノサイド 乳剤							○ ○	は種後～3葉期（イネ科雑草1葉期まで） 生育期（雑草発生前）但し収穫45日前まで	200～300 ml 200～300 ml	2
	エコパート フロアブル	○	○	○	○	○			小麦2～4葉期 春期（雑草発生始期）止葉抽出前まで（収穫45 日前）	50～75 ml 50～75 ml	2

※ 薬剤使用量などの詳細は、栽培基準を参照



1. ドリル播き栽培における「は種期」と「は種量」

適期より早い種は、過繁茂な生育となり倒伏しやすく、「きたほなみ」では縮萎縮病が発生しやすい地域では発生を助長します。また、適期より遅い種は、雪腐病やなまぐさ黒穂病発生および穂数不足となり、収量・品質が不安定となります。越冬前目標茎数確保に向けて、表1・2を参考に、は種適期およびは種量を参考として目標茎数確保を目指しましょう。

表1 越冬前葉数から見た越冬前目標茎数とは種適期

品 種	越冬前葉数	越冬前目標茎数	は種適期
きたほなみ	5.5～6.5 葉	1000 本／㎡	9／18～24
ゆめちから	6 葉以上	1300～1500 本／㎡	9／15～20

表2 は種期とは種量（ドリル播き）の目安

品 種	9 月 15 ～ 20 日	9 月 21 ～ 25 日	9 月 26 ～ 30 日
きたほなみ	5～6 kg	6～7 kg	7～8 kg
ゆめちから	8～9 kg	9～11 kg	—

2. 施肥（基肥）

越冬前の生育量確保のため基肥の施肥窒素は3～4 kg/10a を施用しましょう

3. コムギなまぐさ黒穂病対策

(1) 主な対策事項

- ・小麦の連作はしない（3年以上の輪作）
- ・種子は毎年更新して、かつ種子消毒を徹底する
- ・透排水対策の実施
- ・遅まきをしない（目安9月25日頃まで）
は種時期が遅いほど発病穂率が高まる（右図）
- ・は種深度は3～4 cm に
- ・小麦の野良生を発生させない
- ・トラクター、作業機械の洗浄をこまめに行う

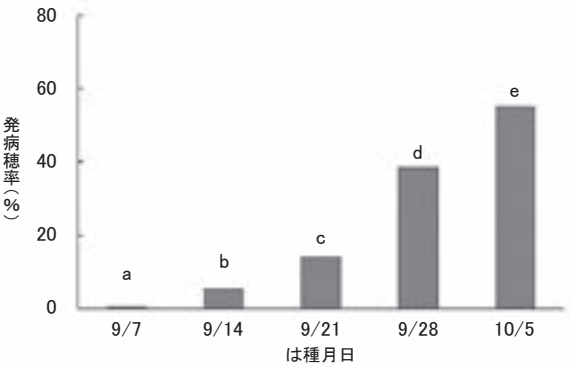


図 は種時期の異なる小麦における発病穂率の比較（2018年 上川農試）

(2) 薬剤散布の実施

防除時期 根雪前（10月下旬～11月中旬）

一般防除機の散布

- ・「フロンサイドSC」1,000倍液…100～150 l /10a

無人ヘリ等の散布

- ・「フロンサイドSKY」8倍液……0.8 l /10a（または16倍液…1.6 l /10a）

雪腐病同時防除も可能です

注）「フロンサイドSKY」使用にあたっては、「安全使用同意書」の提出が必要となります。

4. 縮萎縮病対策

縮萎縮病発生しやすいほ場の「きたほなみ」ドリルは種は、9月21日～30日

- ・「フロンサイドSC」……600 ml（100 l /10a）散布（は種前土壌混和）

※ 収穫損失と汚粒の少ないコンバイン収穫のポイント（中央・上川農試 2002）

- ・ 茎にぬめりが無く、茎水分 55%以下で最適は 40%以下
- ・ 子実水分 14 ～ 20%で最適は 15 ～ 16%
- ・ 刈り高さ 12cm 以上
- ・ 収穫時間帯は露のない 10 ～ 16 時頃まで
- ・ 作業速度は 0.8m/S を目安に条件に応じて速度を調整
- ・ 大豆主茎長 55 ～ 70cm で倒伏がない
- ・ ほ場に雑草（イヌホウズキ等）やわい化病罹病個体がない
- ・ コンバインを大豆使用に設定し、オーガ排出を避ける
- ・ 大豆収穫前に麦や米を収穫した場合、清掃は念入りに

5. 裂皮・しわ粒を発生させない乾燥へのポイント

大豆の出荷時子実水分は 15%まで乾燥します。大豆の子実は、稲・麦の子実より粒が大きいことから、乾燥途中に子実内の水分むらが発生しやすいです。送風温度あるいは湿度によっては、乾燥に起因する被害粒（裂皮粒、しわ粒）が多発する場合があります。また、コンバイン収穫の場合、穀粒水分が 20%以上になることもあり、特に注意が必要です（下図を参照）。

- ・ 乾燥を始める初期水分は、20%以下にする
- ・ 静置式乾燥機は、乾燥むらが起きやすいため、急激な乾燥は避ける
- ・ 循環式乾燥機は、損傷粒が発生しやすいため、誘導排出型バケットコンベアの利用や籾殻等を循環時の緩衝材として利用することが望ましい
- ・ 乾燥時の穀温は、外気温より 15℃以上上がらないようにする
- ・ 高水分の子実は、収穫後直ちに熱風を当てないで、蒸れないようにゆっくり常温で通風し、20℃以下になってから温度をかける

表 乾燥機別乾燥温度と速度の目安

	静置式乾燥機	循環式乾燥機
送風温度	3 0℃以下	3 5℃以下
乾燥速度 (1 時間当り減水率)	0. 3 0 %以下	0. 3 5 %以下

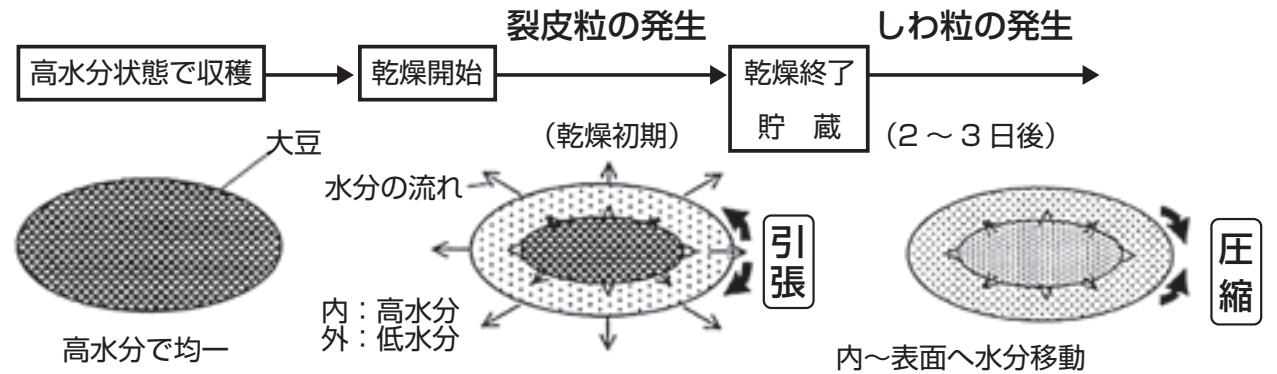


図 大豆乾燥における裂皮粒の発生としわ粒の発生のメカニズム
注） 社団法人全国農業改良普及協会 大豆乾燥調整マニュアルより引用

9～10月の大豆栽培ポイント



1. カビ・腐敗粒対策

生育の早い大豆では、カビ・腐敗粒対策として9月上中旬に大豆登録殺菌剤の散布をしましょう。
主な農薬 シルバキュアフロアブル、ミリオネアフロアブル、アミスター20フロアブル

2. 適期収穫

外観品質の劣化、茎・子実水分の低下推移から「ユキホマレ」のコンバイン収穫適期の目安は、道央で9月下旬～10月中旬（成熟期後2週間以内）と整理されています。

また、道央で「ユキホマレ」が茎水分 40%前後、子実水分 20%以下となる時期も9月下旬～10月中旬、「トヨムスメ」はそれよりも4～13日遅くなります。（平成14年北海道普及推進事項より）

収穫損失と汚粒の少ないコンバイン収穫のポイントは、大豆生育（成熟期）を十分把握してほ場の環境整備により、品質良い大豆生産へ以下の事項を確認し実行しましょう。

3. 必ず試し刈りを行う！

- ・ 1 0 m程度実施し、汚粒やつぶれ、破碎粒などを確認する
- ・ 発生が見られたら収穫作業は一度中止し、対策を講じてから収穫を再開

◎ 試し刈りで汚粒が出たら

● チェックポイント

- ・ 雑草、わい化株がほ場に無いか？
- ・ 刈り取り高さは適正化？
- ・ 子実水分や茎水分は？
- ・ コンバインの調整は？

→

● 対 策

- ・ 抜き取りの徹底を！
- ・ 12 ～ 15cm を基本に土砂を入れないように！
- ・ 子実水分や茎水分に合わせて作業計画
- ・ 再度コンバインの調整を！

4. コンバイン収穫開始の目安

茎の状況	子実水分	ぬめり	汚粒の危険性	対 応
緑が多い	低い	—	少～中	子実水分が低下するのを待つ
	高い	—	中～高	降雪まで時間がある場合は茎の成熟を待つ
褐色が多い	低い	—	少	今すぐ収穫を開始
	高い	—	中～	子実水分が低下するまで待つ
黒が多い	低い	あり	中～	ぬめりがなくなるのを待つ
		なし	少	今すぐ収穫を開始
	高い	あり	高	子実水分が低下し、ぬめりがなくなるのを待つ
		なし	中～	子実水分が低下するのを待つ

（注）子実水分：「高い」は 18%以上 「低い」は 18%未満とする

命を育むために最も大事な「食」 SDGsの観点でも、自分事として捉えていきたい

なぜ今?
国消国産

世界の平和にも大切な「食」の安定

世界の紛争地域や自然災害の被災地で食料支援を行う「WFP」という国連機関が、2020年のノーベル平和賞を受賞しました。あらためて、食料の安定供給が、その国の安定や世界の平和にとっていかに大事であるかが示されました。受賞を報じるこちらの新聞記事にもあるように、世界の7人に1人が十分な食料を得られないといわれています。私たちは飢餓の実態を他人事のように捉えがちですが、自然災害や人口増加などによって、世界における食料の安定供給のリスクは、確実に高まっています。



出典：朝日新聞(2020年10月10日付)
朝日新聞社に無断で転載することを禁じます(承諾番号21-0896)

食料を輸入することについて、環境面からも考える意識

例えば、同じ100円のレモンでも、米国産と国産では何が違うのでしょうか? もちろん、味や品質も違いますが、米国産は1万キロ以上を大型船舶で、国産は数百キロをトラックで運んでおり、

輸送にかかるエネルギーや環境負荷が大きく異なります。食料を輸入するとはどういうことか、食料の安定という面だけではなく、環境面からも考える必要があります。

だから今!
国消国産

SDGsの達成にもつながる「国消国産」



「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」していくという「国消国産」をすすめることは、食料を輸入に依存しないということにつながり、ひいては、食料の安全保障と持続可能な農業の促進を目標とするSDGsのゴール2「飢餓をゼロに」や、ゴール12「つくる責任 つかう責任」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」にも通じるものです。

ここがポイント!

- 1 食料の安定は、世界の平和にもつながっていく
- 2 食料の輸入について、食料の安定という面だけでなく環境面も意識が必要
- 3 「国消国産」で、SDGsの達成にも貢献

JAグループサポーター・林修



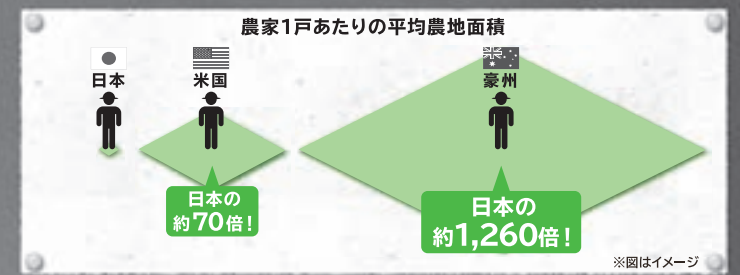
耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

農業が持つ多面的機能という価値 次の世代につなげていくために

なぜ今?
国消国産

中山間地域の自然も生かした農業や食が、日本の特色

日本は食料の約6割を輸入に頼っています。米国や豪州などは、広大な農地でその規模に合った大型機械を使って農業をしています。なぜ、日本では同じ方法で自給率を上げることができないのでしょうか。それは、日本は起伏の激しい中山間地が多く、広大で平坦な土地が少ないためです。国土面積の約7割を中山間地域が占めている日本では、標高差や豊富で良質な水資源などの自然を生かした農業を展開しています。



※図はイメージ
出典：日本は「平成29年農業構造動態調査」、米国は「Farms and Land in Farms 2016 Summary」(米国農務省)、豪州は「Agricultural Commodity Statistics 2016」(豪州農漁業省)

農業が持つ食料生産以外の重要な役割「農業の多面的機能」

農業は、食料を生産するだけでなく、「農業の多面的機能」という重要な役割も果たしています。中山間地域など斜面に畑や水田があることで、川の洪水や土砂崩れを防ぎ、また、市街地や都市の農地は気温上昇を抑えたり、災害時の防災空間になるなど、多くの機能を発揮しています。さらに、多くの生き物のすみかになり、美しい景観を生み出しています。



農林水産省(https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/img/zentai02.jpg)の図を加工して作成

だから今!
国消国産

「国消国産」で、「農業の多面的機能」の持続を

普段は気づきにくい「農業の多面的機能」ですが、中山間地や都市部を問わずに、私たちの生活や自然環境をしっかりと守ってくれています。「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」するという「国消国産」の大切さを、私たち一人ひとりが意識して、「農業の多面的機能」を次の世代につなげていくことが重要です。

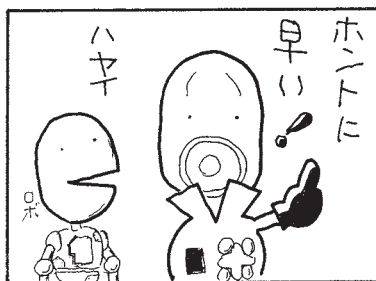
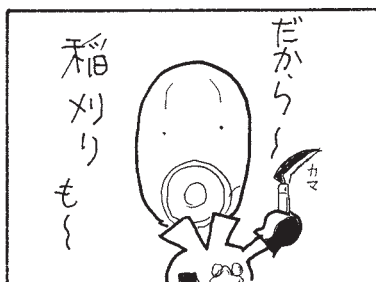
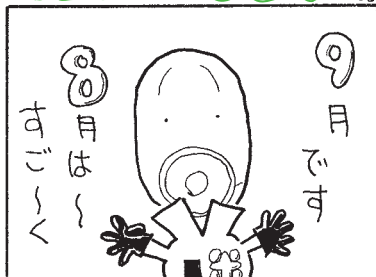
ここがポイント!

- 1 日本の国土の約7割は中山間地域、その地形に適した農業を展開
- 2 農業は国土の保全、多様な生態系維持など「多面的機能」を発揮
- 3 「国消国産」で、「農業の多面的機能」を持続可能なものに

JAグループサポーター・林修



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ



農作業事故に 注意しましょう！

農作物の収穫作業が進んでいますが、この時期は農作業事故も多発しています。昨年度は道内で9名がトラクターや作業機、動力運搬機の下敷きなどによって亡くなっています。

農作業は、一瞬の気の緩みが重大な事故を招く危険性があります。また、9月に入りコンバインでの収穫作業も多くなります。周囲の安全確認を行い、安全に作業を進めましょう。



【コンバイン事故の特徴】

- ① 走行中（ほ場・道）の転落、横転
⇒ 死角に注意し、重心の変化などに考慮した安全な作業を行いましょう。
- ② 整備中の事故
⇒ 整備を行う際は、エンジンを止めましょう。
- ③ 巻き込まれ事故
⇒ エンジンを停止し、手袋や作業着の巻き込まれに注意しましょう。

花き出荷最盛期

8月に入り花きの出荷が最盛期を迎えました。

今年は猛暑の影響により生育が停滞するなど厳しい条件下での共選体制となりましたが、生産者の努力により丁寧に栽培管理された長沼町の花を道内始め全国へ供給しております。



花き共選場

北長沼支所金融店舗統合のお知らせ

日頃よりJA各事業に対し格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、このたび当JAでは、将来を見据えた「持続可能なJA経営基盤強化の確立」に向けた自己改革の取組みの一環として、北長沼支所金融店舗を本所金融部に統合し業務形態の変更をさせていただくことになりました。今後も地域の総合農協として安定堅実な運営に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

また、一部のお客様には金融店舗統合による各種お手続きなど、何かとご迷惑をおかけする場面もございますが、変更手続きが必要となるお客様には個別に農協からご案内をさせていただきますのでご協力をお願いいたします。

なお、北長沼支所は今後もATMを設置した中で営業いたしますので、引き続きご利用下さいますようよろしくお願い申し上げます。

店舗最終営業日	令和6年3月22日（金）午後3時まで
北長沼支所ATM	3月22日（金）午後3時で終了 3月25日（月）午前9時からご利用できます
営業終了店舗	北長沼支所（金融機関コード 3170-002） 夕張郡長沼町東1線北14番地 TEL 0123-89-2031
統合先店舗	本所（金融機関コード 3170-001） 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号 TEL 0123-88-2224 統合後の営業開始日 令和6年3月25日（月）

金融店舗統合に関するお問い合わせ先

ながめ農業協同組合本所金融部 電話 0123-88-2224
〃 北長沼支所 電話 0123-89-2031

店舗統廃合に伴うご留意事項など詳細は改めてご利用の皆様に御案内させていただきます。

理事会報告 - 第8回 -

《令和5年8月24日開催》

[議案]

- 第1号 令和5年産米の取扱について
- 第2号 組合員の出資持分一部譲渡について
- 第3号 信用供与等の限度額の決定について
- 第4号 事業推進員会議の開催について

[報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 利益相反取引の実行報告について
4. 農作物生育状況について
5. 令和5年産 小麦受入状況について
6. 第2回 粳バラ施設運営協議会について
7. 野菜・花き共選等の状況について
8. 令和6年用 営農資材の取りまとめについて
9. 余裕金の運用状況について(第2四半期)
10. 各連合会等の配当について
11. コンプライアンス規程に基づく報告について(第2四半期)
12. 内部監査報告(中央会・内部監査室～現金等実査)について
13. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,541名(－3)
正組合員 806名(±0)
准組合員 735名(－3)
正組合員戸数 625戸(±0)

農協の動き 7/21～8/24

7月

21日	小麦受入開始	於 麦バラ施設
21日	不要農薬回収	於 資材センター
25～30日	内部監査(中央会・内部監査室)	於 管理部
27日	種馬鈴しょ第4期防疫検査	於 農協・ほ場
27～31日	無通告監査(常勤監事・内部監査室・中央会)	於 舞鶴事業所・北長沼支所 管理部・金融部
28日	夏季町長旗全町ゲートボール大会	於 町内
30日	千歳のまち航空祭祝賀会	於 航空自衛隊千歳基地

8月

1日	仮決算棚卸実査	於 関係部門・子会社
4日	ホクレン青果物取扱代表者会議	於 札幌市
5日	夏の暴力追放運動街頭PR活動	於 町内
7日	園芸連 長沼町(保育園)へ野菜贈呈	於 長沼町役場
10日	長沼町農業団体連絡協議会 総会・視察研修会	於 農協、石狩市、 札幌市
15日	長沼町納涼盆踊り大会	於 町内
16～18日	経営所得安定対策最終確認 肥料高騰対策事業申請(国)	於 農協
20日	長沼町戦没者追悼式	於 りふれ
21日	ながめま麦・大豆生産流通協議会現地研修会	於 本所・北支所・舞鶴事業所
21～23日	第2四半期自治監査	於 関係部門・子会社
22日	農福連携に向けた説明会	於 農協
24日	理事会	於 農協
24日	役員研修会	於 農協



●お申し込みは JA へ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
www.nougyou-shimbun.ne.jp

紙面を刷新・さらに充実
役立つ・楽しい・読みやすい!!



JA だより ながめま
2023. 9月号 No. 355

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
発行/ながめま農業協同組合 営農部営農企画課
TEL/0123-88-2226 FAX/0123-88-4113
URL/http://www.ja-naganuma.or.jp